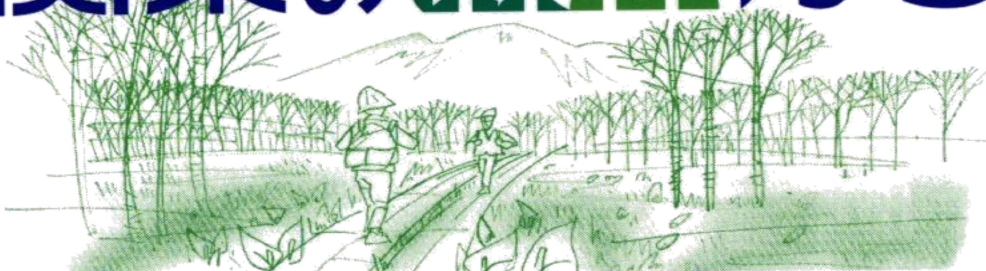


関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaffgo.jp/kanto/>



「桜満開の敷島公園」（群馬県前橋市）

（撮影者：関東森林管理局総務課）

● 平成28年度治山・林道コンクール表彰式を開催 森林整備課、治山課 2
● 第20回 森林（もり）は友達！作文コンクール 東京事務所 4
● 赤谷の森から 地域とつながる赤谷プロジェクト「akayaカフェ」 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 5
● 局周辺の行ってみたい立ち寄りスポット 総務課 6

平成28年度「治山林道コンクール」表彰式を開催

森林整備課 治山課

このたび、関東森林管理局における平成28年度治山・林道工事コンクールの表彰式を3月3日東京事務所会議室・3月8日関東森林管理局大会議室において開催しました。

本コンクールの審査の対象となった工事は、平成27年度に完成した治山工事95件、林道工事22件です。

この中から、各森林管理署等において、「コスト縮減」、「技術提案」、「環境配慮」のテーマ別に、施工体制、施工状況、出来形及び出来ばえ等の審査項目に基づき、治山工事7

件、林道工事6件が推薦され、関東森林管理局において、治山・林道工事コンクール審査委員会を開催し、審査しました。

なお、今年度からは、広く一般的な視点から各工事の内容について、意見・審査をいただくため、新たに外部有識者の方々に審査員として加わっていただきました。

この審査結果を踏まえ、特に優秀な工事として選考された治山工事2件、林道工事2件を関東森林管理局から林野庁に推薦しました。また、

優良工事として、治山工事5件、林道工事4件を選考しました。次に、林野庁に推薦した特に優秀な工事を紹介します。

【治山工事部門】

1件目は

テーマ「技術提案」

静岡森林管理署の「須走地区すばしりちく

(立山5)復旧治山工事たちやま

(施工者 小野建設株式会社おののけんせつ)

スコリア土壌で雨水等により浸食されやすい現場条件に対して、施工

方法、資材運搬方法に留意して施工したこと、第三者への配慮を行い確実に完成したことが評価されました。

2件目は

テーマ「環境配慮」

塩那森林管理署の「元湯地区復旧ゆもとちちく

治山工事」

(施工者 株式会社谷黒組たにぐろくぐみ)

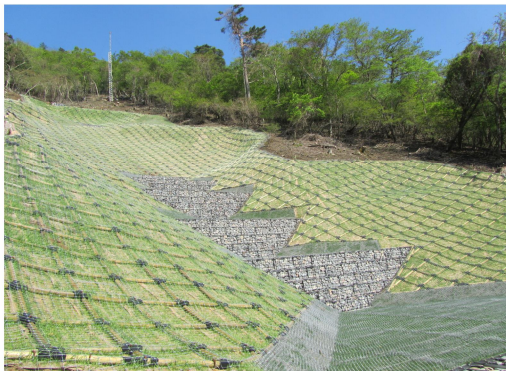
施工箇所の支障となる立木の伐採を極力抑えたこと、観光地に近接していることから、低騒音仕様の機械を用いて、騒音対策を講じたこと、また、施工あたって地元への説明等の丁寧な対応が評価されました。



表彰記念写真（関東森林管理局）



表彰記念写真（東京事務所）



須走地区（立山5）復旧治山工事
（静岡森林管理署）



元湯地区復旧治山工事
（塩那森林管理署）

【林道工事部門】

1件目は

テーマ「技術提案」

吾妻森林管理署の「万座林道改良

工事」

(施工者 池原工業株式会社)

本工事については、橋梁工事を施工する機会が少ない中で、施工者として様々な技術を模索し、丁寧かつ安全な施工と良好な出来ばえが評価されました。



万座林道改良工事 (吾妻森林管理署)

2件目は

テーマ「環境配慮」

東京神奈川森林管理署の

「水の木幹線林道改良工事」

(施工者 河津建設株式会社)

登山者など一般者の通行がある施工箇所において、木製看板を設置するなど周知徹底を図ったことや、使



水の木幹線林道改良工事 (H26補正) (東京神奈川森林管理署)

用材料についても環境配慮がされていたことが評価されました。以上、推薦した4件は林野庁における審査の結果、林野庁長官賞を受賞されることになりました。

また、各森林管理署等からの推薦のありました治山工事5件・林道工事4件は優良工事として関東森林管理局長賞を、また、林野庁長官賞を受賞された各工事の現場代理人、主任技術者、監督職員へも関東森林管理局長賞を授与しました。

平成28年度治山・林道工事コンクール優秀工事一覧(林野庁長官賞)							(敬称略)
事業別	テーマ	実行署名	工事名	名称	役職名	氏名	備考
治山	環境配慮	塩那森林管理署	元湯地区復旧治山工事	(株)谷黒組	代表取締役	谷 黒 克 守	関東森林管理局長賞
					現場代理人	伊 藤 幸 一	
				(監督職員)	農林水産技官	小 林 剛	
					代表取締役	小 野 徹	
治山	技術提案	静岡森林管理署	須走地区(立山5)復旧治山工事	小野建設(株)	現場代理人	向 笠 勝 弘	関東森林管理局長賞
					主任技術者	橋 本 仁 志	
				(監督職員)	農林水産技官	池 原 純	
					代表取締役	池 原 純	
林道	技術提案	吾妻森林管理署	万座林道改良工事	池原工業(株)	現場代理人	篠 原 光 男	関東森林管理局長賞
					主任技術者	樋 原 光 男	
				(監督職員)	農林水産技官	樋 原 勳	
					代表取締役	河 津 市 元	
林道	環境配慮	東京神奈川森林管理署	水の木幹線林道改良工事	河津建設(株)	現場代理人	石 井 真 太 郎	関東森林管理局長賞
					主任技術者	佐 野 行 伸	
				(監督職員)	農林水産技官	岩 崎 隆 裕	
					代表取締役	河 津 市 元	

平成28年度治山・林道工事コンクール優良工事一覧(関東森林管理局長賞)							(敬称略)
事業別	テーマ	実行署名	工事名	名称	役職名	氏名	備考
治山	コスト縮減	吾妻森林管理署	烏帽子地区泉 沢川 水源地域整備工事 (H26ゼロ国)	南波建設(株)	代表取締役	南波 久美子	
治山	技術提案	静岡森林管理署	北郷地区(角取山1) 復旧治山工事	佐野藤建設(株)	代表取締役	後藤 元光	
治山	技術提案	梨森林管理事務	小武川湯沢復旧治山工事 (H26ゼロ国)	国際建設(株)	代表取締役社長	佐々木 幸一	
治山	技術提案	井川治山センタ	榛原川ゴボウ薙復旧治山工事 (H26ゼロ国)	(株) 梶山組	代表取締役	梶 山 基	
治山	環境配慮	天竜森林管理署	平森山地区復旧治山工事 (H26ゼロ国)	正光建設(株)	代表取締役	星島 泰周	
林道	コスト縮減	磐城森林管理署	戸草林道 才勝分線 林業専用道 新設工事	(株) 長尾組	代表取締役	長 尾 章	
林道	コスト縮減	茨城森林管理署	熊ノ倉 林業専用道 新設工事	(株) 根本組	代表取締役	中 野 章	
林道	技術提案	森林管理署白河	二飛山 林業専用道 新設工事	森本建設(株)	代表取締役	森 本 榮	
林道	環境配慮	群馬森林管理署	岩 氷 林業専用道 新設工事	上原建設(株)	代表取締役	五十 嵐 修	

第20回 森林(もり)

は友達！ 作文コンクール

東京事務所

2月17日、都内のホテルにおいて「第20回森林(もり)は友達！作文コンクール」の表彰式が行われました。

この作文コンクールは、関東森林管理局管内のうち、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県及び静岡県に所在する森林管理署、高尾森林ふれあい推進センター等が行った森林教室や体験林業等に参加した小学4～6年生を対象に、体験を通じて感じたこと、思ったこと、学んだことを自ら作文にすることに よって、森林・林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的に、森林作文コンクール実行委員会(一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所で構成)が毎年度行っているものです。

平成9年から開催された作文コンクールは今年で20回目を迎え、総参加者数は約22千人にも達しています。今回は、小学校17、団体1から1,522名の参加がありました。最優秀賞の林野庁長官賞には、「森林の大切さを知って」と題して高尾の森林教室で「森林の役割」を学び、「森林の大切さ」を知り、「森林を守りたい」と実感したこと を 気負わずに自分の言葉で素直に綴った、八王子市立みなみ野君田小学校5年生の川原咲凜さんが受賞しました。

この作文コンクールは、今後も次代を担う子供たちに森林・林業の大切な役割について体験学習の機会を提供するため、これからも続けていくこととしています。

なお、作文コンクールを20年にもわたり主催する東京林業土木協会に対して、森林環境教育に協力貢献したことが認められ林野庁長官感謝状が3月3日に授与されました。



最優秀賞(林野庁長官賞)授与



各賞の受賞者

今月の表紙 「桜満開の敷島公園」

関東森林管理局に隣接している敷島公園は、利根川と広瀬川に挟まれた場所に位置し、園内には約六百種七千本のバラや四季に咲き誇る「バラ園」や、ボート池、子供の広場などもあり、レクリエーションや憩いの場として親しまれています。また、陸上競技場、野球場等のスポーツ施設も充実しており常に賑わっております。

毎年、4月上旬ごろ、約三百本のソメイヨシノが咲き誇り、花見の一大名所となっております。





地域とつながる赤谷プロジェクト「akayaカフェ」

赤谷プロジェクトの地域づくりの活動のひとつに「akayaカフェ」なるものがあることをご存じでしょうか。

赤谷の森の自然散策やネイチャークラブのイベントにはこれまで多くの方に参加いただきましたが、「akayaカフェ」に参加したことがある方はそれほど多くないかもしれません。今回は、実はおもしろい！「akayaカフェ」についてご紹介したいと思います。

赤谷プロジェクトには、「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」という二大目標があります。「akayaカフェ」は、地域づくりをテーマに、講師を招いた講演やワークショップ等を行う活動で、内容も毎回様々です。昨年度は2回の内容で開催されました。

「第1回akayaカフェ」寺田本家に学ぶ自然の恵みのいかし方」(平成28年11月8日、みなかみ町た

くみの里須川公民館にて開催)

【内容】

- ① 赤谷プロジェクトの紹介(自然保護協会 出島誠一)
- ② 寺田本家の酒造りと地域作り(自然の恵みの活かし方(寺田本家24代当主 寺田優))

千葉県の蔵元寺田本家さんは、地域で栽培された無農薬の米を使用した伝統的な方法による日本酒作りとともに、自らも米作りも行い、また、「発酵」をテーマとした地域おこしの取り組みを行っています。

赤谷プロジェクトの理念である、森林資源を活用した地域づくりとも通じる点や、利根川流域であるみなかみ町と下流域である千葉県との水資源を介した流域間交流を図ると



寺田本家さんの講演

いう観点から、寺田氏を講師としてお招きすることになりました。

寺田氏のできるだけ自然で伝統的な方法での米と酒づくりのこだわり、また、地域と共生していくため、酒米ではなく、あえて地域で作られる通常のコシヒカリを原料にして、農家が無農薬のお米づくりを続けている価格で米を買い取っていること、「発酵」をテーマにした地域おこしの取り組みについて話をお聞きしました。逆風を恐れず新しいことに挑戦する姿勢や、地域と共に活動を継続している姿に赤谷プロジェクト関係者も感銘を受けました。

実は昨年から、たくみの里周辺の若手有志によって、耕作放棄地で無農薬米を作る田んぼプロジェクトが



地域の有志で始まった田んぼプロジェクト

始まっています。赤谷の森がその地域の水源地でもあることから、赤谷プロジェクトも地域づくり活動の一環として協力し、この田んぼで収穫した米を寺田本家さんの日本酒にしてみらうことになりました。今年その第一号が完成予定とのこと、地域づくりの活動が広がることを期待しています。

「第2回akayaカフェ」草木染めで奥利根300年の森の恵みと出逢う」

(平成29年3月5日、みなかみ町たくみの里「染の家」にて開催)

【内容】

- ① 赤谷プロジェクトと奥利根のブナ太郎の紹介(赤谷センター 魚住悠哉)



草木染めワークショップの様子

② 草木染めワークショップ(草木屋山崎 杜人)

2017年1月からみななかみ町のたくみの里「染の家」で草木染めを行っている講師の山崎氏は、群馬県内各地で地域の自然の素材を染料とした染め物を作り、地域の自然の恵みを知ってもらうこともテーマとした活動を行って



様々な樹種の染料から多彩な染め物に

います。そこで、赤谷プロジェクトと連携し、平成27年に立ち枯れて危険となったため伐倒処理されたブナの巨木(国有林の森の巨人百選「奥利根のブナ太郎」)を材料にした染料や、他の様々な樹木から作った染料を使用し、

染め物体験や、染めた手ぬぐいの絵付け体験のワークショップを行うことになりました。

樹種によって多様で鮮やかな色に染まること、また、同じ樹種でも地域によって染料の色が変化することにも参加者の方は驚いていました。身近な森や里山にも、まだまだ知られていない豊かな自然の恵みや可能性が眠っているのではないかと気付かされました。

このように、「akayaカフェ」では、参加者だけでなく赤谷プロジェクト関係者も、地域づくりに対するインスピレーションをもらっています。こうした様々な出会いを重ねることにより、お互いの活動に良い化学反応が生じていくことを期待しています。

毎回興味深いテーマで開催される「akayaカフェ」、みなさんも参加してみませんか? 今年度の開催内容は未定ですが、赤谷プロジェクト関連のホームページ等でお知らせする予定です。



松林と満開の桜(敷島公園)

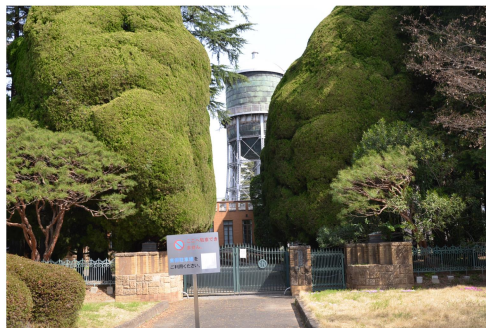
局周辺の行ってみたい立ち寄りスポット

総務課

今月の表紙で、敷島公園を紹介させていただきましたが、関東森林管理局の周辺には、立ち寄りてみたいスポットが数多く存在しております。今回はその幾つかを紹介いたします。

水道資料館と配水塔

局東側の道路から、北側を望むと正面に大きなタンクが目に入ります。これは、前橋市水道局配水塔で、現在も現役で88年にわたり使用されています。しかしながら、4年後に稼働を終了し保存する方針のようです。また、平成8年12月に歴史的景観に寄与する近代建造物として、文化庁から有形文化財に登録れ、近代水道百選に選ばれた施設です。ここのツツジが見事で一見の価値があります。



前橋市水道局配水塔(前橋市敷島町)



岩神の飛び石(前橋市昭和町)

岩神の飛び石

群馬大学医学部の近くにある高さ約10m周囲約70mの巨大な岩塊です。国指定の天然記念物であり、火山噴火の噴出物が泥流により運ばれたとされているもので、昭和13年12月14日の指定時より「赤城山の噴火によるもの」と考えられていましたが、「浅間山方面由来の岩石」であることが、近年明らかとなったとのことです。

伝説によると岩にノミを入れたところ、岩から不気味な声が聞こえ、赤い血が噴出したことから、飛石の脇に神社を建てたとの逸話が残っています。

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 230-1393